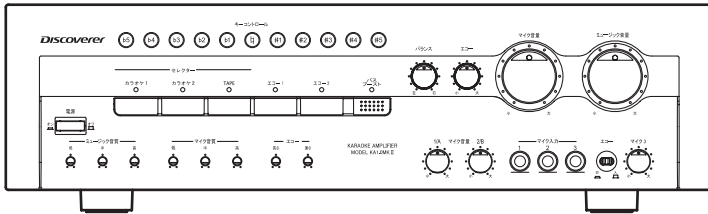


# KARAOKE AMPLIFIER



## KA1.0MKII 取扱説明書

お買い上げいただき、ありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。  
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店、CSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

### 目次

安全上のご注意.....	2
前面パネルの名称とはたらき.....	4
後面パネルの名称とはたらき.....	6
システム接続図.....	8
スピーカーシステムの接続.....	9
一般的な使い方.....	10
ボリューム位置の設定方法.....	11
故障とお考えになる前に.....	12
保証・アフターサービスについて.....	12
お手入れ.....	13
規格.....	13
音楽鑑賞のエチケット.....	14
著作権について.....	14

#### \* 付属品






- 取扱説明書(本書)..... 1
- 保証書..... 1
- ポインターラベル..... 1













# 安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共に必ず保管してください。

## — 絵表示について —

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。	図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
	● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)が描かれています。
	△ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。	図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

 <b>警告</b>	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。</li> </ul>	 ● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
	 ● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。 <small>接触禁止</small>
 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> <li>● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>	 ● 表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。 ● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
 ● 電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	 <small>電源プラグをコンセントから抜く</small> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 <small>水場での使用禁止</small> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>	 ● この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。 ● この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の開口部をふさがしないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があります。次のような使い方はしないでください。               <ul style="list-style-type: none"> <li>・この機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。</li> <li>・この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。</li> <li>・テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。</li> </ul> </li> </ul>	 <small>分解禁止</small> <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。</li> <li>● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</li> </ul>
 <ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。</li> </ul>	 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

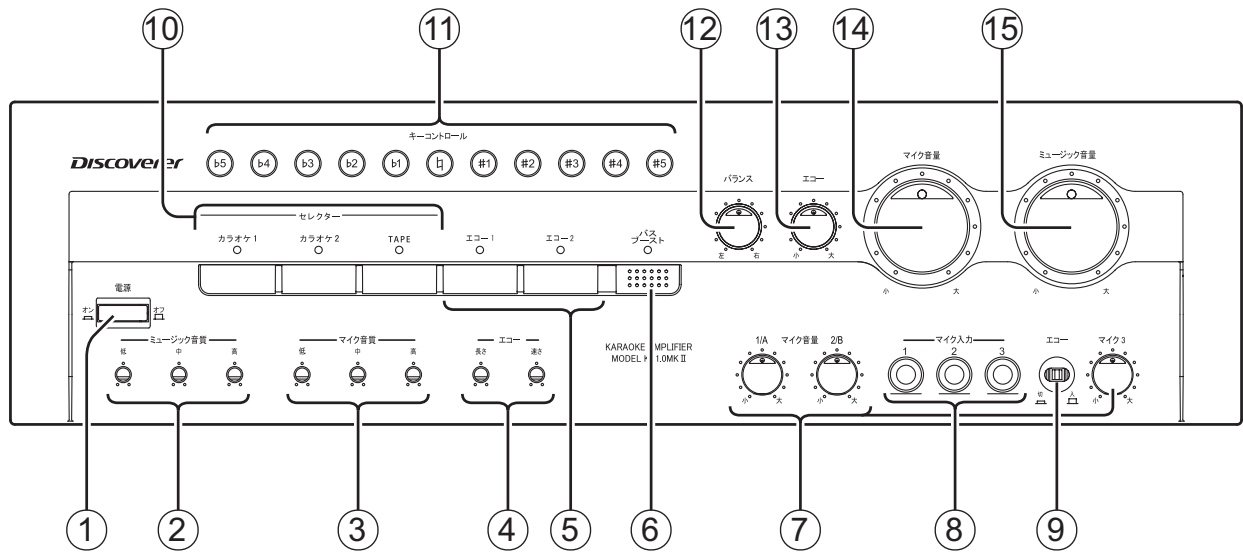
## ⚠ 警告

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器のACアウトレットが供給できる電力は、後面パネルに表示されており、接続する装置の消費電力の合計が表示されているW(容量)を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。</li> </ul>
---	---

## ⚠ 注意

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。</li> <li>● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。</li> <li>● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオ機器、テレビ、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。</li> <li>● 電源を入れる前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。</li> <li>● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアピンなどと一緒には携帯、保管しないでください。電池のプラス端子とマイナス端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードを使用しないでください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラスとマイナスの向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池収納部についた液をよく拭き取ってから新しい電池をいれてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示(条例)にしたがって処理してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。</li> <li>● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。</li> <li>● この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</li> <li>● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。</li> </ul>	

## 前面パネルの名称とはたらき



### ① 電源スイッチ(電源)

押すとアンプ本体の電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

### ② ミュージック音質調整つまみ (ミュージック音質：低、中、高)

ミュージックの音質を低音、中音、高音 各々に調整できます。

### ③ マイク音質調整つまみ (マイク音質：低、中、高)

マイク音声の音質を低音、中音、高音 各々に調整できます。

### ④ エコー調整つまみ (エコー：長さ、速さ)

**長さ**：エコーの持続する時間長を調整できます。  
**速さ**：エコーのくり返し周期の間隔を調整できます。

### ⑤ エコー選択スイッチ

エコーの種類が選択できます。

### ⑥ バスブーストスイッチ (バスブースト)

ボタンを押すとブースト状態となり、LEDが点灯します。ブースト状態のときは、低音が強調され、迫力のある低音再生を演出します。

※電源を切ったときは、リセットされます。

## ⑦ マイク音量調整つまみ (マイク音量：1/A、2/B、3)

1/A：マイク入力1（前面パネル）とマイク入力A（後面パネル）の入力レベル調整ができます。

2/B：マイク入力2（前面パネル）とマイク入力B（後面パネル）の入力レベル調整ができます。

3：マイク入力3（前面パネル）の入力レベル調整ができます。

## ⑧ マイク入力端子 (マイク入力：1、2、3)

マイクを接続する端子です。マイクはダイナミック型で出力インピーダンスが600Ωのものをご使用ください。

## ⑨ エコー入／切スイッチ(エコー)

“切”にするとマイク3の音声だけエコーが解除されます。

### 注意

エコーを“切”にするとマイクマスター音量調整つまみは効きません。音量調整はマイク3つまみで調整してください。

## ⑩ インプットセレクタースイッチ (セレクター：カラオケ1、カラオケ2、TAPE)

入力を選択するスイッチです。

## ⑪ キーコントロールスイッチ (キーコントロール)

演奏の音程を変えるときに押します。標準の音程より1/2音単位で上下5段階まで変えられます。歌が終わると $\downarrow$ に戻ります。

## ⑫ バランス調整つまみ(バランス)

左右のスピーカーから出る音量を調整できます。

## ⑬ エコー量調整つまみ(エコー)

マイクのエコー量を調整できます。

## ⑭ マイクマスター音量調整つまみ (マイク音量)

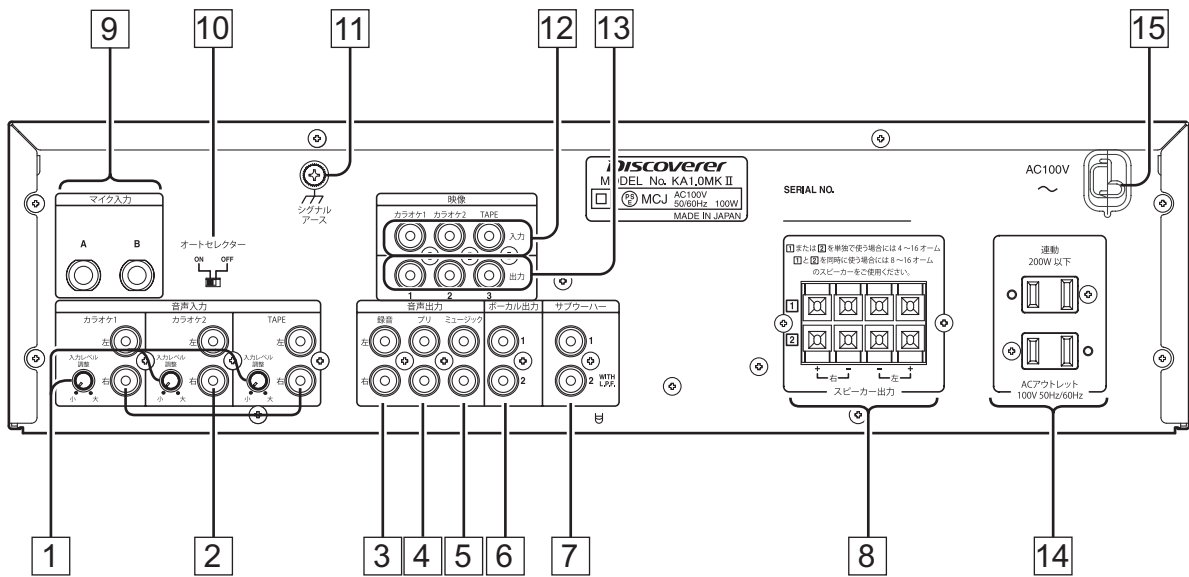
マイク入力全体の音量を調整できます。

## ⑮ ミュージックマスター音量調整つまみ (ミュージック音量)

ミュージックの音量を調整できます。



## 後面パネルの名称とはたらき



### 1 音声入力レベル調整つまみ (カラオケ 1、2、TAPE)

各入力(カラオケ 1、2、TAPE)の音量とバランスを取りながら調整してください。

#### 注意

出荷時は最大の位置になっています。

### 2 音声入力端子 (カラオケ 1、2、TAPE)

#### カラオケ 1

カラオケコマンダーの音声信号を入力する端子です。

#### カラオケ 2

LD、CDなどの音声信号を入力する端子です。

#### TAPE

テープデッキやビデオデッキなどの音声信号を入力する端子です。

### 3 録音出力端子

テープデッキなどの録音用音声を入力する端子です。録音用音声は、マイクとミュージックがミックスされたものが出力されます。

#### 注意

マイク音量、ミュージック音量つまみは効きません。TAPEが選択されている時は、発振防止の為、録音出力端子はミュートされます。(音声出力されません。)

### 4 プリ出力端子

増設のパワーアンプやミキサーなどに接続する端子です。プリ用音声は、マイクとミュージックがミックスされたものが出力されます。

#### 注意

バランス調整、マイク音量、ミュージック音量つまみは効きます。

### 5 ミュージック出力端子

選択された音声信号のみを出力する端子です。

#### 注意

ミュージック音量つまみは効きます。

## ⑥ ボーカル出力端子

マイクのドライ音声信号が出力する端子です。1にはマイク 1/Aの、2にはマイク 2/Bのドライ音声信号が出力されます。

※ドライ音声信号：エコー回路を経由しないマイクの音声信号のことです。

### 注意

マイクマスター音量、エコーつまみは効きません。

## ⑦ サブウーハー出力端子

増設するサブウーハーを接続する端子です。

1: 選択された音声信号がモノラルで出力されます。

2: 選択された音声信号がローパスフィルターを通してモノラルで出力されます。

### 注意

ミュージック音量つまみは効きます。

## ⑧ スピーカー端子

4Ω～16Ωのスピーカーシステムを接続する端子です。

### 注意

スピーカー以外の機器は接続しないでください。2系統使用（スピーカー4本）する場合は8Ω～16Ωとなります。

## ⑨ マイク入力端子(MIC : A / B)

マイクを接続する端子です。

## ⑩ オートセレクタースイッチ

入力選択方法をオートとマニュアルに切替えるスイッチです。ONに設定されると、入力は音声信号を検出して切替わります。

### 注意

ON時の優先順位は、カラオケ 1→2→TAPEです。OFFに設定されると、前面パネルのセレクターボタンで選択します。

## ⑪ シグナルグランド端子

シグナルグランド端子です。

## ⑫ 映像入力端子 (入力：カラオケ 1、2、TAPE)

外部機器の映像を入力する端子です。

## ⑬ 映像出力端子 (出力：1、2、3)

セレクターで選択されている入力（カラオケ 1、2、TAPE）の映像が出力される端子です。モニターを3台まで接続できます。

## ⑭ 電源コンセント

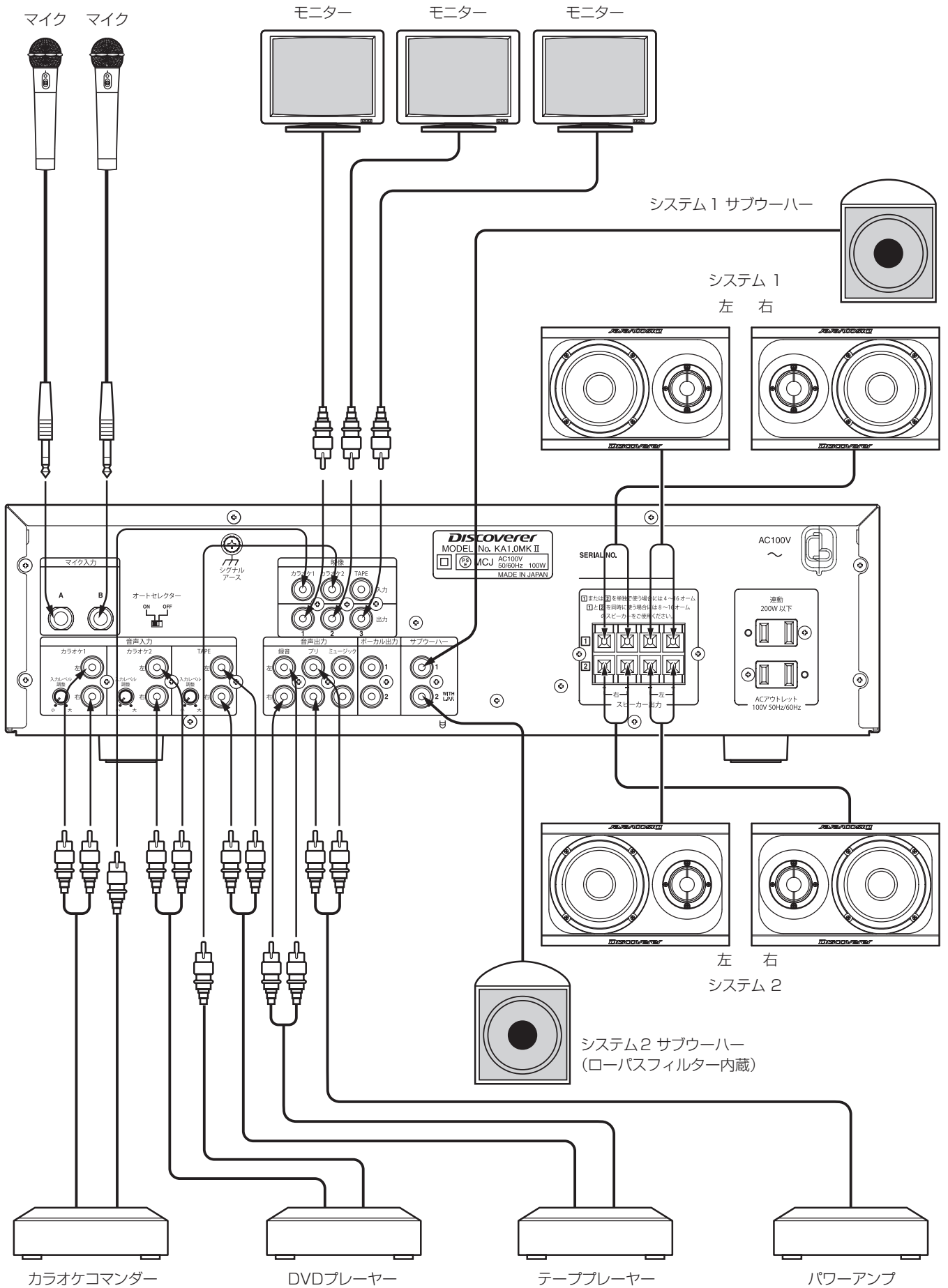
### スイッチ連動(最大消費電力 200W)

本機の電源スイッチのON/OFFに連動して接続した機器に電源を供給できます。

## ⑮ 電源コード

AC100Vのコンセントに接続します。

# システム接続図

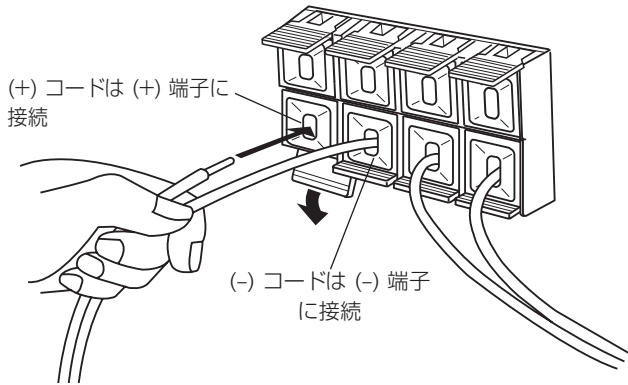




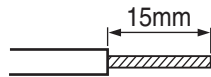
# スピーカーシステムの接続

## スピーカーコードの接続

1. レバーを矢印の方向に押し下げて、導線を穴に差し込みます。
2. レバーを元の位置に戻して導線を固定します。



接続前に、プライヤーなどの工具で先端の被覆を15mmほど剥きます。



### 注意:

端子からはみ出た導線が他のコードの導線や端子に触れないようにしてください。  
異なるスピーカーコードどうしが接触すると、故障の原因になります。

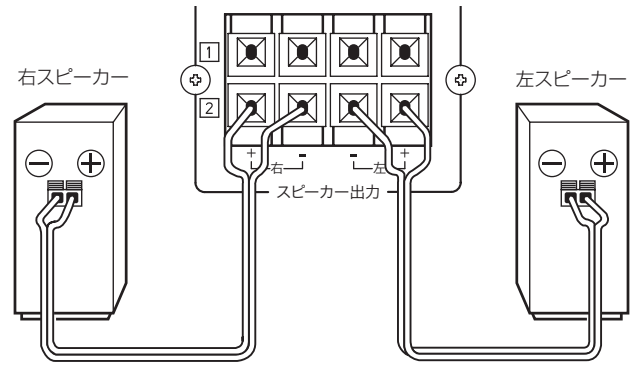
スピーカーシステムの許容インピーダンスは次の通りです。

スピーカーシステムを1つのシステムで使用する場合。(1または2)

.....4 Ω ~ 16 Ω

スピーカーシステムを1つのシステムで使用する場合。(1および2)

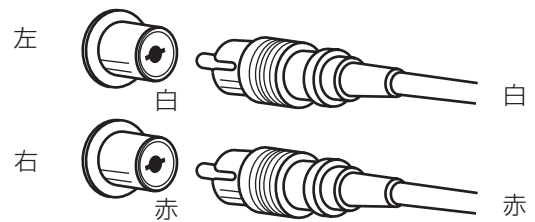
.....8 Ω ~ 16 Ω



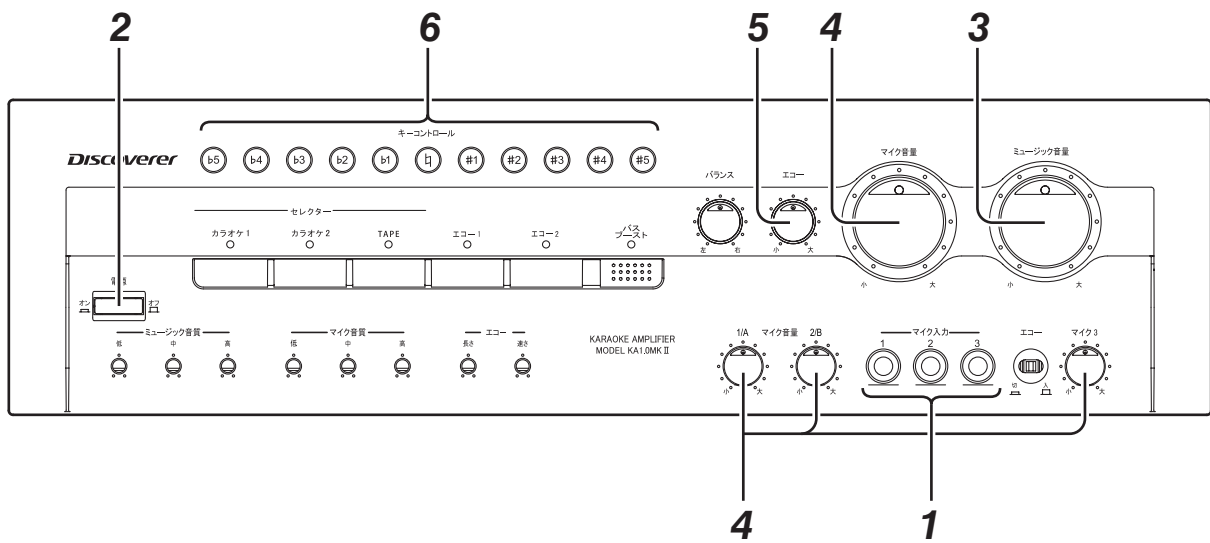
⊕をスピーカーの⊕側に、⊖をスピーカーの⊖側に接続してください。

## RCAピンプラグの接続

RCAピンプラグを接続する際には、赤のプラグは赤のジャック、白のプラグは白のジャックに接続してください。



## 一般的な使い方



- 1 マイクを端子に接続します（3本まで接続できます）。
- 2 本機と他の機器の電源スイッチを押してオンにします。
- 3 カラオケ音源を再生して、「ミュージック音量調整つまみ」で音量を調節します。
- 4 各マイクの「マイク音量調整つまみ」でマイクの音量が同じになるように調節してから、大きな「マイク音量調整つまみ」でマイク全体とカラオケ音源のバランスを調節します。
- 5 「エコー量調整つまみ」でエコー量を調節します。
- 6 「キーコントロールスイッチ」でキーを調節します。

### マイクの正しい使い方

- マイクは口から5～10cm離して持ちましょう。
- マイク先端から離れた部分を握りましょう。
- マイク先端にかぶせてある風防キャップの下を持たないでください。この部分が手で隠れると、低音がこもった音声になり、ハウリングの原因になります。



## ボリューム位置の設定方法

このアンプでは、マイクとミュージックの音量調整つまみを右一杯に回したときのストップ位置を調節できます。

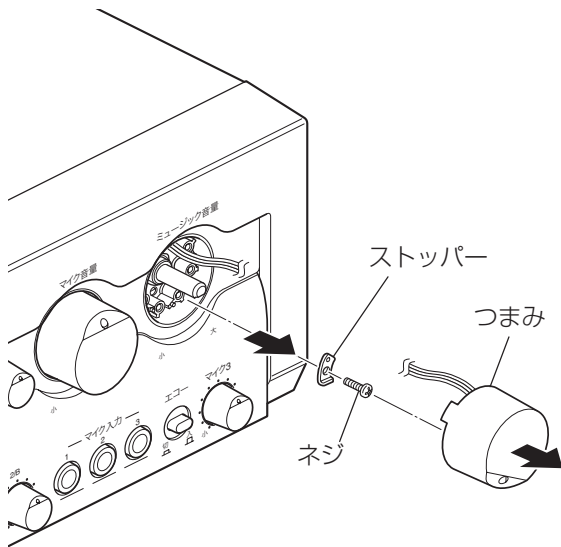
つまみの中にあるストッパーの場所を変えることで、6段階のストップ位置から選ぶことができます。出荷時は音量調整つまみが最大値まで回るように設定されています。

ストップ位置を調整する手順は次の通りです。

- 1 音量調整つまみを左一杯に回します。
- 2 つまみをゆっくりと手前に引いて外します。

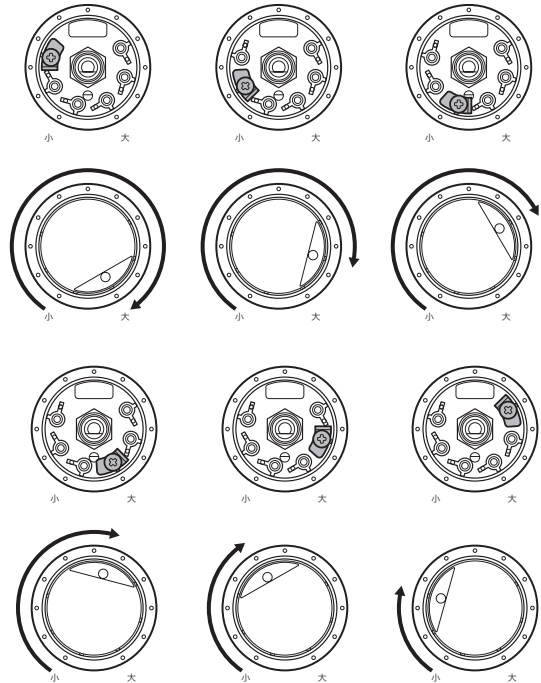
### 注意:

つまみはアンプ内部の回路に配線で接続されていますので、強く引っ張ったり、アンプから離し過ぎたりしないでください。断線の原因になります。

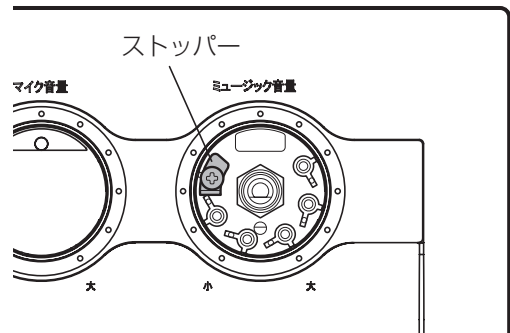


- 3 ストッパーを固定しているネジを取り外してから、ストッパーを取り外します。

- 4 取り外したストッパーを好きな位置に取り付けます。ストッパーの位置と音量コントロールの可動範囲を下図に示します。



- 5 ストッパーを取り付けたら、ネジで固定します。



### 注意:

ストッパーを取り付ける差には、前後の向きを間違えないように注意してください。

- 6 音量調整つまみをフロントパネルの音量調整用の軸に取り付けます。

### 注意:

音量調整つまみを取り付けるときに配線を挟まないように注意してください。配線が挟まると断線することがあります。

## 故障とお考えになる前に

症状	考えられる原因	対策
どちらのスピーカーからも音が出ない	1. 電源スイッチが「オフ」になっている。 2. 電源コードが抜けている。 3. 「ミュージック音量調整つまみ」が最小になっている。	1. 電源スイッチを「オン」にします。 2. 電源コードをコンセントにしっかりと差し込みます。 3. 「ミュージック音量調整つまみ」を調整します。
片方のスピーカーから音が出ない	1. 「バランス調整つまみ」が左または右一杯に回っている。 2. 片方のスピーカーコードが外れている。	1. 「バランス調整つまみ」を真ん中に戻します。 2. スピーカーコードの端子に正しく接続します。
マイクの音が出ない	1. マイクのプラグが正しく差し込まれていない。 2. マイクのスイッチが「オフ」になっている。 3. ミュージックまたはマイクの音量が最小になっている。 4. マイクが口から遠すぎるか、マイクの取り扱いが不適切。	1. マイクのプラグを正しく差し込みます。 2. マイクのスイッチを「オン」にします。 3. 適切な音量になるよう調整つまみを調節します。 4. マイクの取扱説明書を参照して、適切に扱います。

## 保証・アフターサービスについて

- この商品には保証書を別途添付してあります。保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保管してください。
- 本体の保証期間はご購入日より1年間です。CSRカスタマーサポートで保証記載事項に基づき「無償修理」いたします。
- 保証期間経過後の修理。  
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理致します。
- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
- 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、取扱説明書の裏面に記載のCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。
- 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度**故障とお考えになる前に**をご参照の上よくお調べください。それでも直らないときは、必ず電源プラグを抜いてから、取扱説明書の裏面に記載のCSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

### ご連絡いただきたい内容

- |           |                     |
|-----------|---------------------|
| 1) 品番     | KA1.0MKII           |
| 2) 製番     | セット裏面及び保証書に記載されています |
| 3) お買い上げ日 | 年 月 日               |
| 4) 故障の状況  | (できるだけ具体的に)         |
| 5) ご住所    |                     |
| 6) お名前    |                     |
| 7) 電話番号   |                     |

### 修理品送付先

#### CSRカスタマーサポート

〒252-0303

神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号

## お手入れ

セットが汚れたときは、やわらかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5~6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れをふきとったあと、乾いた布でからぶきしてください。アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。

また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変色・変質する場合がありますのでご注意ください。

### \*ヒューズの交換

万一、ヒューズが切れた場合は、お買い求めの販売店、またはCSRカスタマーサポートへご連絡ください。

## 規格

### アンプ部

実用最大出力.....150W+150W (8Ω JEITA)

全高調波歪率.....0.05% (1kHz, 50W, 8Ω)

入力端子 (感度/インピーダンス)

カラオケ 1、2、TAPE ..... 120mV/25kΩ

マイク 1/A、2/B、3.....6.7mV/4.2kΩ

出力端子(出力レベル/インピーダンス)

録音 .....700mV/1kΩ

プリ .....800mV/1kΩ

ミュージック .....400mV/1kΩ

サブウーハー .....900mV/1kΩ

ボーカル .....11mV/1kΩ

周波数特性

ミュージック .....20Hz ~ 100kHz, +4/0dB

マイク .....40Hz ~ 10kHz, +4/0dB

トーンコントロール特性

ミュージック (低音).....±12dB (100Hz)

(中音).....+9/-10dB (1kHz)

(高音).....+10/-7dB (10kHz)

マイク (低音).....±11dB (100Hz)

(中音).....±11dB (1kHz)

(高音).....+9/-6dB (10kHz)

スピーカー端子

.....4Ω ~ 16Ω (1系統のみ、1または2)

.....8Ω ~ 16Ω (2系統使用時、1および2)

キーコントロール可変範囲

.....11ステップ、(±2-1/2音)

### ビデオ部

映像入力端子(感度/インピーダンス).....1Vp-p/75Ω

映像出力端子(出力レベル/インピーダンス)

.....1Vp-p/75Ω

### 電源部・その他

電源電圧 .....AC 100V 50/60Hz

### 消費電力

電気用品安全法(J60065) .....100W

アイドリング時 .....30W

予備コンセント

連動(最大200W).....2

外形寸法(幅×高さ×奥行き)

.....420mm × 123mm × 406mm

重量

.....9.5kg

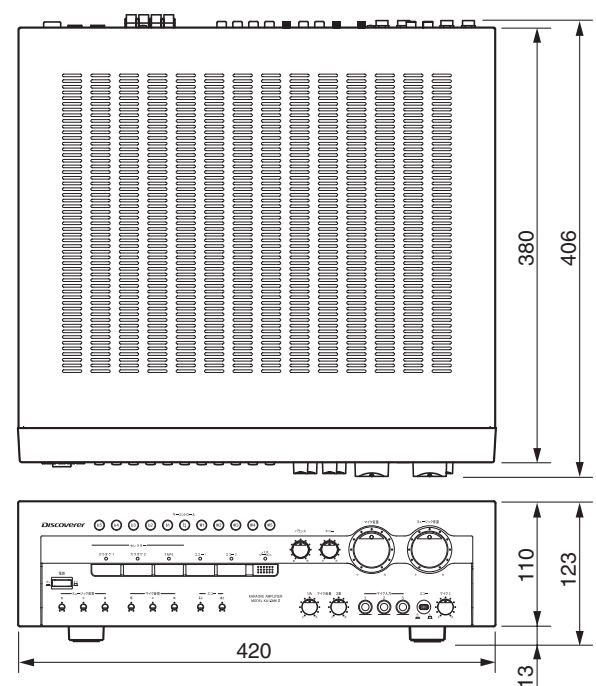
### 付属品

取扱説明書 .....1

保証書.....1

ポインターラベル .....1

### 寸法図



## 音楽鑑賞のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



## 著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。音楽の歌詞、楽曲などは著作権法によって保護されていますが、放送やCD、レコード、その他の録音物(カラオケテープ・ミュージックテープなど)も同じように著作権法により保護されています。したがって、それから録音したものを

- ・売ったり、配ったり、あるいは譲ったり、貸したりすること
- ・営利(店のBGMなど)のために使用すること

は、著作権法上、権利者の許諾が必要です。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」(JASRAC)の本部、もしくはもよりの支部におたずねください。

## — 日本音楽著作権協会 —

**本部** 〒151-8540 東京都渋谷区上原3-6-12  
TEL (03)3481-2121(大代表)

**北海道支部** (業務地域 北海道)  
〒060-0001 札幌市中央区北一条西3-2 井門札幌ビル  
TEL (011)221-5088(代表) FAX (011)221-1311

**仙台支部** (業務地域 宮城、青森、岩手、秋田、山形、福島)  
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー  
TEL (022)264-2266(代表) FAX (022)265-2706

**大宮支部** (業務地域 埼玉、栃木、群馬、長野、新潟)  
〒330-0802 さいたま市大宮区宮町2-35 大宮MTビル  
TEL (048)643-5461(代表) FAX (048)643-3567

**東京支部** (業務地域 東京、千葉、茨城、山梨)  
〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング  
TEL (03)5157-1161(代表) FAX (03)3503-5551

**東京イベント・コンサート(EC)支部** (業務地域 東京・千葉・茨城・山梨)  
\* イベント、コンサート関係  
〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング  
TEL (03)5157-1162(代表) FAX (03)3503-5552

**横浜支部** (業務地域 神奈川県)  
〒231-0005 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル  
TEL (045)662-6551(代表) FAX (045)662-6548

**静岡支部** (業務地域 静岡県)  
〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-6 大同生命静岡ビル  
TEL (054)254-2621(代表) FAX (054)254-0285

**中部支部** (業務地域 愛知・岐阜・三重)  
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-24-30 名古屋三井ビル本館  
TEL (052)583-7590(代表) FAX (052)583-7594

**北陸支部** (業務地域 石川・富山・福井)  
〒920-0853 金沢市本町1-5-2 リファール  
TEL (076)221-3602(代表) FAX (076)221-6109

**京都支部** (業務地域 京都・滋賀・奈良)  
〒604-8153 京都市中京区烏丸通四条上ル笋町689 京都御幸ビル  
TEL (075)251-0134(代表) FAX (075)251-0414

**大阪支部** (業務地域 大阪、和歌山、兵庫)  
〒541-0042 大阪市中央区今橋3-3-13 ニッセイ淀屋橋イースト  
TEL (06)-6222-8261(代表) FAX (06)-6222-8260

**中国支部** (業務地域 広島・岡山・山口・鳥取・島根)  
〒730-0021 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル  
TEL (082)249-6362(代表) FAX (082)246-4396

**四国支部** (業務地域 香川・徳島・高知・愛媛)  
〒760-0019 高松市サンポート2-1 高松シンボルタワー  
TEL (087)821-9191(代表) FAX (087)822-5083

**九州支部** (業務地域 福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)  
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街1-1 新幹線博多ビル  
TEL (092)441-2285(代表) FAX (092)441-4218

**那覇支部** (業務地域 沖縄)  
〒900-0029 那覇市旭町116-37 カフーナ旭橋C街区オフィスコート  
TEL (098)863-1228(代表) FAX (098)866-5074

(2018年01月17日現在)





*Get in the groove*  
**DISCOVERER**

CSR カスタマーサポート

**TEL: 042-711-6001**

**e-mail: support@kcsr.co.jp**

ご相談受付時間  
9:00 ~ 17:00  
(土 日 祝日を除く)

**株式会社 CSR**

神奈川県相模原市南区相模大野5丁目33番4号